

新森古市駅

60分
コース

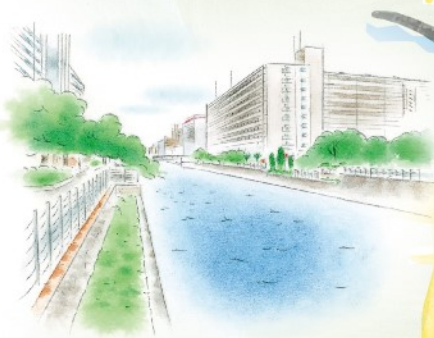
Osaka Metro まちさんぽ

今里筋線 新森古市駅

森小路遺跡と大阪大国技館のまち

弥生時代のムラから現代の住宅地へ

およそ2000年前、このあたりは淀川南岸の自然堤防で、それまで生駒山麓まで広がっていた海(河内湾)が淀川や大和川が運ぶ土砂で次第に埋まり、潟(河内潟)と呼ばれる低湿地になっていました。森小路は河内潟の北端に位置し、淀川のほとりに人々がムラを形成して生活を始めました。昭和6年(1931)に発見された森小路遺跡です。



↑清水駅



弥生時代の生活跡が特に多い地域



人の姿を刻んだ土器片
大阪市内で発見された最古の絵



森小路遺跡は大阪で発見された弥生時代の最低平地遺跡として注目されています。おそらく地下水対策や灌漑もなされていたのでしょ。鍬、白などの農耕用具や墓地も発見されています。竪穴式住居の時代に想いを馳せて、いまのまちを歩いてみましょう。

スタート駅

今里筋線
新森古市駅
②号出口

1 古市村(新森と古市)

2 森小路遺跡
新森中央公園

3 城北川

4 大阪大国技館跡

ゴール駅

今里筋線
新森古市駅

約 60 分

新型コロナウイルス
感染拡大防止のために

●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

弥生時代のムラから現代の住宅地へ

およそ2000年前、このあたりは淀川南岸の自然堤防で、それまで生駒山麓まで広がっていた海(河内湾)が淀川や大和川が運ぶ土砂で次第に埋まり、潟(河内潟)と呼ばれる低湿地になっていました。森小路は河内潟の北端に位置し、淀川のほとりに人々がムラを形成して生活を始めました。昭和6年(1931)に発見された森小路遺跡です。

スタート駅



約 60 分



ゴール駅

今里筋線新森古市駅②号出口

今里筋線新森古市駅

1 古市村 (新森と古市)

明治22年(1889)の市町村制施行により、このあたり一帯の南島村、今市村、森小路村、千林村が合併したとき、新しい村名を古文書にある古市郷から古市村と名付けました。その後、古市は、旭区では小学校名に名をとどめていますが、城東区では町名にいまでも使用されています。新森は森小路の略称で、昭和46年(1971)に旭区の正式な町名になりました。



ほうかいしゅうこうぼ
方形周溝墓跡(現在は埋め戻されています)

2 新森中央公園・森小路遺跡

古代から淀川の南には広大な森林が広がっていました。その森の中に小路が通っていた場所が森小路だといわれています。千林や森口(守口)も森林に由来する地名です。昭和6年(1931)に新森中央公園周辺で弥生時代中期の集落遺跡が発見されました。海拔2.5~5mの低層平地遺跡として貴重な遺跡です。稲の穂を摘み取る石包丁や木製の鋏、臼などの農機具、籾跡のみられる土器が出土して、稲作がこの地で行われたことを示しています。約2200年前の壺には「ばんざい」をしている頭の丸い人物の画が描かれています。製塩跡もあります。墓地も出ています。現在住宅地の新森4~5丁目付近では、地下わずか1m掘り下げた砂層から古墳時代の遺物やその後の飛鳥・奈良時代のもの、さらには荘園期から室町時代のものまで出土しています。この地で2000年の時代を超えて営まれてきた人々の生活を想像してください。遺跡の範囲は、新森中央公園を中心に、半径300~400mにわたるとされ、大阪市顕彰史跡に指定されています。



(旭区民ホール展示・大阪市文化財協会所属)



3 城北川

寝屋川と大川(旧淀川)を直結する城北運河として昭和15年(1940)に完成しました。昭和60年(1985)には一級河川に指定されて城北川と名称が変わりました。大雨のとき寝屋川の川水を大川に導く放水路にもなっています。治水対策と調和のとれた水辺環境の形成をめざし、改良を重ねて、現在は川沿いに遊歩道も整備されて市民の憩いの場になっています。



4 大阪大国技館跡

大正年間に浪速区・新世界に「大阪国技館」ができましたが、大阪相撲の衰退により映画館になりました。昭和になって東西の相撲協会が合流し、双葉山の人気で相撲ブームが起こったとき、昭和12年(1937)、旭区(いまは城東区)の古市に新しく国技館が建てられました。4階建ての洋風ドーム建築で観客25,000人を収容して当時の両国国技館よりも規模が大きく、大阪大国技館、大阪関目国技館と呼ばれました。ところが3年7回の興行を経て、戦局の悪化で休業を余儀なくされ、軍需工場となり、戦後は進駐軍に接収され、その後解体されました。現在はURの「リビエール関目」の敷地です。



大入り満員の館内
(城東区ホームページより)



模型(城東区役所ロビー展示)

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

